

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応調査

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
塩江地区	1	保健センター等出先機関の統合	地域行政組織再編計画の目的である「市民により近いところで、幅広い行政サービスが提供できるよう機能を分散し、限りある行財政資源を有効活用して、効果的な組織」を目指すため、総合センターの開設に合わせて地域包括支援センター・保健センターの出先機関を統廃合し、窓口の一元化を図るようだが、そのメリット・デメリットについて、説明を求めます。	総務局 健康福祉局	人事課行政改革推進室 地域包括支援センター 保健センター	地域包括支援センターサテライト塩江及び塩江保健センターは、「高松市地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合整備方針」に基づいて、香川総合センターに移転統合するものでございます。 まず、そのメリットといたしましては、これまで各支所で実施してきた福祉やコミュニティーなど、各種行政窓口サービスに加えて、保健師等が常駐することから、育児相談や健康相談等、子どもから高齢者まで一体的かつ専門的な対応により、相談窓口の充実が図られ、幅広い行政サービスの提供が可能となります。 また、保健師等の専門職のコーディネーターを配置し、妊娠期から子育て期にわたる相談・支援をワンストップで提供する子育て世代包括支援センターの設置も予定しており、幅広く多様な保健・福祉ニーズに応えて、より一層の相談・支援体制の充実を図ります。 さらに、保健師を総合センターに集約配置することで、チーム体制による的確かつ迅速で、質の高い業務の実施が可能となり、保健・福祉サービスの、さらなる向上に努めます。 一方、デメリットといたしましては、香川総合センターまでの距離が遠くなることが挙げられますが、これまでと同様に御自宅への訪問のほか、身近なコミュニティセンターなどでも御相談等をお受けしたいと存じます。
塩江地区	2	新病院附属医療施設整備事業の進捗状況	塩江分院の整備事業について、平成27年度から平成28年度現在の状況及び今後のスケジュールについて具体的な説明を求めます。	病院局	新病院整備課	当日回答（別紙のとおり）
塩江地区	3	塩江の観光振興	高松市まちづくり戦略計画（第1期：平成28年度～30年度）の特別重点の「温泉をいかした塩江地域の観光振興事業」の塩江温泉郷活性化基本構想に基づく事業の実施について、具体的な説明を求めます。	創造都市推進局	観光交流課	「温泉をいかした塩江地域の観光振興事業」については、平成28年度中に、地域住民や関係者の御意見を踏まえながら、塩江温泉郷の活性化のための基本構想を策定し、平成29年度以降、この基本構想に基づき、民間のノウハウ等も活かしながら各種施策を進めてまいります。
塩江地区	4	公共施設のリニューアルの取組	奥の湯温泉は、「現施設は機能廃止とするが、地域の観光振興に資する施設としてのあり方を検討し、建て替え、用途変更等の対応を考える」と説明がりましたが、塩江温泉郷活性化基本構想をもとに考えるとのことですが、地域のためには早急な対策が必要であると思います。	財政局 創造都市推進局	財産経営課 ファシリティア マネジメント推進室 観光交流課	現在の奥の湯温泉については、老朽化のため機能廃止することとしていますが、平成28年度中に、地域住民や関係者の御意見を踏まえながら、塩江温泉郷の活性化のための基本構想を策定することとしており、その中で、塩江地域における観光施設のあり方を定め、平成29年度以降、この基本構想に基づき、民間のノウハウ等も活かしながら各種施策を進めてまいります。
塩江地区	5	柗川ダム周辺整備事業	現在実施中である柗川ダム整備事業（香川県）の促進や水源地域整備計画に基づく事業（柗川ダム関連整備）について、無駄なく長期にわたり利用できるように考えていかななくてはなりません。合併特例債を最大限に活用し、実りある整備を県にも要望をお願いします。	都市整備局	河港課	柗川ダム整備事業につきましては、平成32年の完成を目的に、事業主体である県とともに、引き続き事業推進に努めてまいりたいと存じます。 また、柗川ダム周辺整備につきましては、昨年度末に地元関係者の方々から周辺整備の意見聴取を行っており、今後、香川県・高松市・地元関係者の方々で構成された検討委員会、整備計画について、検討・協議を進めることになっております。この中で、地域の方々の御意見を踏まえ、補助金や合併特例債などの財源確保に努め、県とともに魅力ある周辺整備の推進に努めてまいりたいと存じます。

建設計画に係る平成29年度から平成30年度までの実施事業に関する意見に対する対応調査

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
塩江地区	6	地域経済の活性化や雇用の確保、住環境の整備	<p>塩江町は合併後に人口減少が進み、町内の商工業者も減少しており、何か施策を考えなくてはいけないと思われます。空き地等の利用を活用して企業誘致や起業対策に早急かつ真剣に取り組まなくてはならないと思われます。</p> <p>また、市民が安心して暮らせる良好な住環境の整備を図るため、空き家等の除去に対する支援がありますが、具体的に老朽化した空き家の査定（立会いのもと）により支援が受けられるのでしょうか。また、更地になれば固定資産も倍になるから古家を壊さずに置いておくと聞きましたが、行政として老朽危険空き家は、個別に指導や事務手続き等の支援を是非ともお願いします。</p>	創造都市推進局 市民政策局	産業振興課 くらし安全安心課	<p>（産業振興課） 産業の活性化及び雇用機会の拡大を図るため、企業誘致専門員を配置し、企業立地のための情報収集やネットワークづくりに取り組むとともに、企業誘致優遇制度を活用し、企業誘致に努めているところでございます。</p> <p>また、産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定し、平成27年10月に国の認定を受けましたことから、今後は、関係機関と効果的な連携を図りながら、創業者の支援を実施してまいります。</p> <p>その他、塩江小学校跡地を利用し、内装業に携わる人材育成を行う「職人育成塾」の開校に向けた支援も行っているところでございます。</p> <p>（くらし安全安心課） 平成28年度から開始しております老朽危険空き家の除却補助については、老朽化度合に一定の基準がございますことから、申込受付後、現地調査し対象となるかどうかを判断しています。また、空き家の管理については、近隣からの相談等を受けた場合、所有者等に対し文書等により指導を行っているほか、特定空家等と認められる老朽危険空き家に対しては、法に定める措置を適切に実施してまいります。</p>
塩江地区	7	自転車道等の利用促進	<p>塩江から香東川沿いには、県道塩江 香川 高松自転車道路（269号線）があり、また、安原地区の親水ゾーンとしてその周辺には東屋等の施設も整備されております。しかし、現状は、サイクリング自転車や国道をスピードを出して走行している光景をよく見かけ、自動車の走行の妨げにもなっています。今後は、香東川沿いに整備されている自転車道や親水ゾーンを活用し、安心・安全で、利用しやすい方法を考える必要があると思います。</p>	都市整備局	道路整備課	<p>県道塩江香川高松自転車道線は、本市郷東町より塩江町の観月橋までの区間について整備されておりますが、自転車道路の終点より北の香東川沿いには、安原地区の親水ゾーンとして遊歩道が整備され、市民の憩いの場として利用されておりますことから、自転車道や親水ゾーンの周知を図るなど、両施設を活用し、利用しやすい環境づくりについて地域審議会からの御意見を踏まえ、県とも連携しながら適切に対応してまいりたいと存じます。</p>
塩江地区	8	国道193号線の歩道等の整備	<p>国道193号線は緊急輸送道路の指定もあり、塩江小・中学校の通学路でもあります。現状は周辺の工事の遅れのため、歩道・自転車道がない所は自転車や国道にはみ出し、危険な状況であります。また、交通量も増えておりますので、一日も早く安全で安心して通学ができるように、特に学校北側出入り口付近の早急な整備促進を国や県に対して要望をお願いします。</p>	都市整備局	道路整備課	<p>国道193号の歩道の整備状況等について、香川県にお伺いしましたところ、現在、地元の合意形成が図れましたところから順次、自転車歩行者道路の整備を行っており、できる限り早期の完成を目指してまいりたいと伺っております。</p> <p>また、御指摘の学校北側出入り口付近については、地元との合意形成が図れていませんが、短期的な対策として、学校入口付近の交差点カラー化などの交通安全対策を平成25年度に実施しており、引き続き、地元のご理解を得られますよう検討したいとのことでした。</p>